

市営寺戸第2住宅5・6号

解体工事

三 次 市

佐伯建築設計事務所



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

市営寺戸第2住宅5・6号解体工事

図面名称

平面図・立面図

縮

尺

| I 工事概要 | | | I 一般共通事項 | 項 目 | 特 記 事 項 | 項 目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|---------------------------------|--|--|---|---|
| 1 工事名称 | 市営寺戸第2住宅5・6号解体工事 | | | ⑧ 工事工程表 (1. 2. 1) | (1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） (2)本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。 なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。 | ⑩ 中間技術検査 (1. 6. 2) | *行わない ・行う（回数及び時期については監督員の指示による。） |
| 2 工事場所 | 三次市三次町1 4 6 番地 1 | | ⑨ 施工計画書 (1. 2. 2) | 検査期間としての1 4 日間を含んだ工程とし、工事全体を把握して作成し、監督員の承諾を受ける。 | ⑪ 工程報告 | 期間別工事工程報告書を毎月2回3部提出すること。 | |
| 3 構造・規模 | 木造・平家建 | | | 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、あらかじめ監督員に提出し承諾を得ること。 （仮設計画、安全・環境対策、工程計画、解体計画、発生材の処分計画） | ⑫ 埋設物等の報告 | 工事の施工に当たり、図面にない地下構造物、埋設配管等を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。 | |
| 4 工事種目 | (1)建物解体・撤去工事一式（内容は別図による） (1)外構・工作物等一式 | | | | ⑬ 地下埋設物調査 | ・行わない ・行う 図示する範囲内において、整地前に敷地境界から2 mの距離を置き、幅1 m、深さ1.5 mで、3 m間隔で掘削調査を行う。 | |
| 5 別途工事 | | | | | ⑭ かし担保調査 | 竣工後、発注者からかし担保調査（建設工事請負契約約款第41条に定める期間内）の連絡があった場合には、調査に協力すること。 | |
| 6 不当要求又は工事妨害の排除について | ア. 暴力団等から不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という）を受けた場合はその旨を直ちに発注者に報告し、所轄の警察署に届出ること。 イ. 発注者及び所轄の警察署と協力して、不当介入の排除対策を講じること。 ウ. 排除対策を講じたにも拘らず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。 エ. 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第2 1条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。 オ. 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。 カ. 当該被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。 その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第2 1条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。 | | ⑩ 施工条件 (1. 3. 5) | (1)作業時間は、原則午前8時半から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。 なお、時間変更が必要がある場合は監督員の承諾を受けること (2)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 (3)その他図示による | ⑮ 家電リサイクル法対象機器の処分 | 特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は、同法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。 | |
| 7 公衆災害防止措置 | ア 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。 イ 上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。 | | ⑪ 安全確保 (1. 3. 6～1. 3. 8) | (1)受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い、周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して、工事施工をすること。なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。 (2)工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。 低騒音型・低振動型建設機械の使用（近接住民の生活環境の保全の必要性がある場合） (3)歩行者等の通行に支障を生じないよう誘導員を配置し適切な処置を講じること。特に道路幅の狭い箇所及び児童の通学路と重複する箇所には、誘導員を配置する等の措置を講じること。 (4)ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。 (5)作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。 ①つり足場（ゴンドラのつり足場を除く）、張出し足場又は高さ5 m以上の構造の足場の組立て、解体を行う場合、コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが5 m以上のもの）の解体作業を行う場合は、労働安全衛生法第1 4条に基づく技能講習を終了したものとする。 ②木造建築物の解体作業を行う場合は、平成3年1月21日付け基発第3 9号「安全衛生教育の推進について」及び平成元年9月5日付け基発第4 8 5号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。 | ⑯ 竣工図 | 残置及び設置工作物等、工事完了時に敷地内に存する物（埋設物も含む）の種類、位置及び供給管の切断箇所等の今後当該敷地を管理していく上で必要な事項を明記した配置図を作成し、A 2版で2部提出するとともに、電子成果品（C D－R等）を1部提出すること。 | |
| 8 現状復旧 | 工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。 | | ⑫ 工事の記録 (1. 2. 3) | 下記のものを監督職員に提出する。工事中写真の撮影は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。 (1)工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 (2)工事中写真 全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、その他工事終了後では確認できない事項、その他監督員が指示する箇所は、A4版写真台紙（カラー・サービス版）にまとめて完成検査日までに1部提出するものとする。 なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の全般に亘り、その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 (3)完成写真 着工前及び完了時の状況を同一方向から撮影したものを提出すること。 （撮影箇所） 監督員が指示する箇所 （写真規格） ・カラーサービス版 ・カラーキャビネ版 ・ （規格・提出部数） ①A4版クリアファイル 3 部 ・A4版写真台紙 部 ・アルバム 部 （表紙、背表紙に監督員の指示により工事名称等を印字すること） (4)その他の写真 隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督員の指示により提出すること。 (5)保管 工事写真のネガは工事完成後、受注者において2年間保管すること。（発注者には〇Dにて提出すること） | Ⅱ 仮設工事 | ① 騒音・粉塵等の対策（仮囲い等の安全施設） (2. 2. 1) | ○解体工事着手前に工事対象区域内に仮囲い（○H=3.0m ○図示 ）を設置すること。 ○解体工事着手前に建物周囲に次の騒音・粉塵等の対策を行う。 （ ・防音パネル ・防音シート ・メッシュ金網、養生シート ） ・防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲及び高さ等 （ ・建物全周囲に建物高さ以上 ・図示 ） 枠組み足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月24日基発第0424001号）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)又は(3)の方式により行うこと。 また、上記足場の設置や点検等については、労働安全衛生規則を遵守して実施すること。 ・騒音・振動計を設置すること。（設置箇所は図示による） |
| 9 その他 | (1)この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として三次市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。 (2)解体仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法を明示している場合において、それらが、関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。 (3)本工事の場合には工事中下記に示す調査を行うため、管財課及び建築住宅課より連絡があれば対応すること。 ・公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） | | ⑬ 電気保安技術者等 (1. 3. 3～1. 3. 4) | 工事用水力設備の保安責任者として関係法令等に基づく有資格者を定め、監督員に報告する ・電気保安技術者 ・適用しない ・適用する | Ⅲ 解体施工 | ① 事前措置 (3. 2. 1) | (1)給水管、ガス管、電気ケーブル、下水道等の供給管等の切断及び樹、配管等の撤去は本工事に含む。 ① 配管等の切断及び汚水管、排水管等の末端処理については、供給者と事前に協議すること。 ② 水道、ガス、下水等の切断位置等は木杭等で明示する。また、記録を残し監督員に提出する。 ③ 配管等の切断位置や、切り回し必要箇所等は図示による。 (2)落下するおそれのある付属物は撤去すること。 (3)解体に際して周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は駆除等を行う。 (4)電気設備のコンデンサ等は残留電荷の確認を行い、必要に応じて放電する。 (5)衛生器具等は、十分に洗浄を行い、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。 (6)浄化槽、排水槽等の解体に係る汚水及び汚物等の残留物は、施設管理者が回収する。 洗浄等を行うため時期等について協議すること (7)地下タンクオイル残留油も同上とする |
| Ⅱ 解体工事仕様 | 1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版）（「解体仕様書」という。）による。 2 特記仕様 (1)項目は番号に○印のついたものを適用する。(3)項目欄に記載の（ ）内番号は共通仕様書の当該項目を示す (2)特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は*印のついたものを適用する。 ○印と*印がついた場合は○印のついたものを適用する。 ○印と◎印がついた場合は、共に適用する。 | | ⑭ 近隣との折衝 (1. 3. 1 1) | 工事施工に当たっての近隣との折衝は次による。また、経過について記録し、遅滞なく監督員に報告する。 (1)地域住民等と工事の施工上必要な折衝をおこなうものとし、あらかじめその概要を報告する。 (2)工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。 (3)近隣に一般住宅及び市営住宅が有り注意を要す。 監督員による随時の立入り検査を行う。 検査に必要な資機材、労務等を提供すること。 | | ② 工事用水 | 原則、既設給水管設備は利用できない。ただし、利用可能な場合は、水道料金及び使用水量に応じポンプ運転に要した電力使用量は、受注者の負担とする。 |
| 1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版）（「解体仕様書」という。）による。 | | | ⑮ 施工の検査 (1. 5. 3) | | | ③ 監督員事務所（2. 3. 1） | ◎設けない ・設ける（ m程度） 備品類等は監督員の指示を受けて設置すること。 |
| 2 特記仕様 (1)項目は番号に○印のついたものを適用する。(3)項目欄に記載の（ ）内番号は共通仕様書の当該項目を示す (2)特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は*印のついたものを適用する。 ○印と*印がついた場合は○印のついたものを適用する。 ○印と◎印がついた場合は、共に適用する。 | | | | | | ④ 交通誘導員 | *配置する ・配置しない 配置計画 *大型車両進入出時 （ 1 ）人／日 ・常時配置 （ ）人／日 ・（ ）作業期間 （ ）人／日 ○4人を見込んでいます。 |
| 項 目 | 特 記 事 項 | | | | | | |
| I 一般共通事項 | ① 適用基準等 | *建設工事公衆災害防止対策要綱 *建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定） *建築工事安全施工技術指針 *再生資源利用促進実施要領（広島県土木局制定） | | | | | |
| | ② 設計図書の優先順位 | (1)現場説明に対する質問回答書 (2)現場説明書 (3)特記仕様書 (4)図面 (5)共通仕様書 | | | | | |
| | ③ 官公署その他への届出手続等 (1. 1. 3) | 工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続等を遅滞なく行うこと。また、これらの手続等を行うに当たっては、届出内容についてあらかじめ監督員に報告すること。なお、手続き等に要する費用は受注者の負担とする。 | | | | | |
| | ④ 別契約の関連工事 (1. 1. 7) | 本工事は別契約の工事に施工上密接に関連するため、監督員の調整に協力すると共に、工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し、工事の円滑な施工に努めること。 | | | | | |
| | ⑤ 表示板の設置 | 現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板及び建設業法その他法令等に定める表示板を掲げること。 *工事名等の表示板（900mm×600mm） | | | | | |
| | ⑥ 工事実績情報の登録 (1. 1. 4) | 受注者は、受注時又は変更時において請負金額が5 0 0万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、登録（契約）、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 | | | | | |
| | ⑦ 発生材の処理等 (1. 3. 1 0) (4. 1. 3～4. 5. 1) | ○引渡しを要するもの（○PCBを含む機器類、・PCB含有ソリッド材、 ） ○次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する (1)建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 ○建設発生土 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 (2)金属類 (3)小型二次電池 ○その他建設廃棄物の再資源化 *無し ・有り（ ・蛍光灯、HDランプ ・硬質塩化ビニル管、継手） ○指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減 *無し ・有り ○再資源化された建設廃棄物の現場での利用 *無し ・有り（ ） ○産業廃棄物広域認定制度の適用 *無し ・有り（ ） ○処理に注意を要する建設廃棄物 *無し ・有り（ ・CCA処理木材 ・ひ素、ｶﾞﾐﾅ含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） | | | | | |

1:100



附近見取図

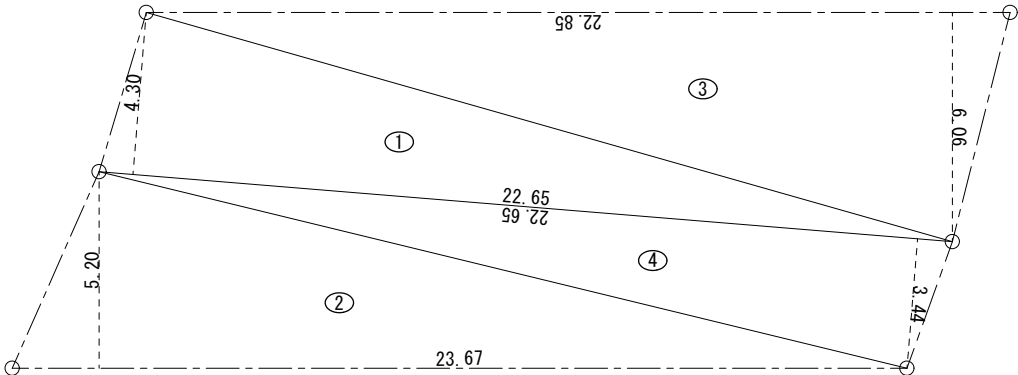
床面積表

| | | |
|------|-----|-----|
| | 8.8 | 8.8 |
| 3.61 | 5号棟 | 6号棟 |
| 3.61 | | |

面積表

| | | | | | |
|-------|-----|---|------|---|----------|
| 5号棟 | 8.8 | × | 3.61 | = | 31.768 |
| 6号棟 | 8.8 | × | 3.61 | = | 31.768 |
| | | | | | |
| 小 計 | | | | | 63.5 |
| | | | | | |
| 延べ床面積 | | | | | 63.5 (㎡) |
| | | | | | |
| 建築面積 | | | | | 63.5 (㎡) |

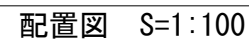
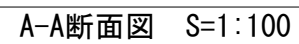
求積図 S=1:200



求積表

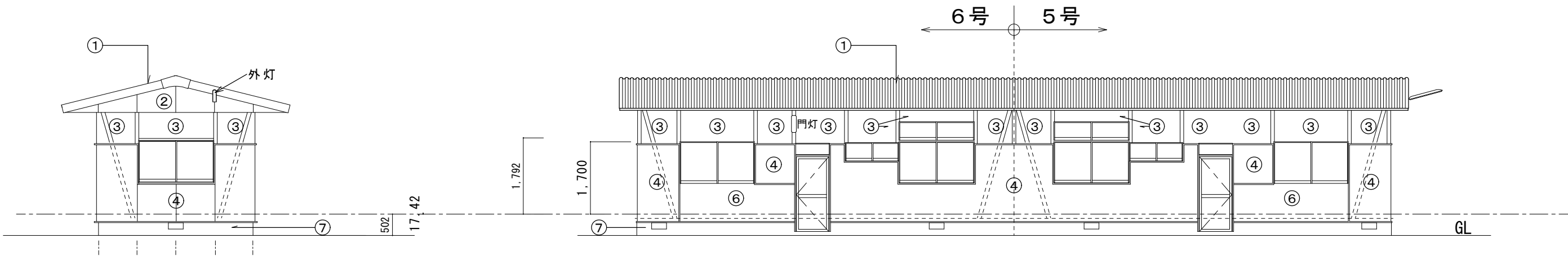
| 番号 | 底 辺 | 高 さ | 倍 面 積 | 面 積 |
|---------|-------|------|----------|-----------------------|
| 1 | 22.65 | 4.30 | 97.3950 | 48.69750 |
| 2 | 23.67 | 5.20 | 123.0840 | 61.54200 |
| 3 | 22.85 | 6.06 | 138.4710 | 69.23550 |
| 4 | 22.65 | 3.44 | 77.9160 | 38.95800 |
| 合 計 | | | | 218.43300 |
| 敷 地 面 積 | | | | 218.43 m ² |

1:100



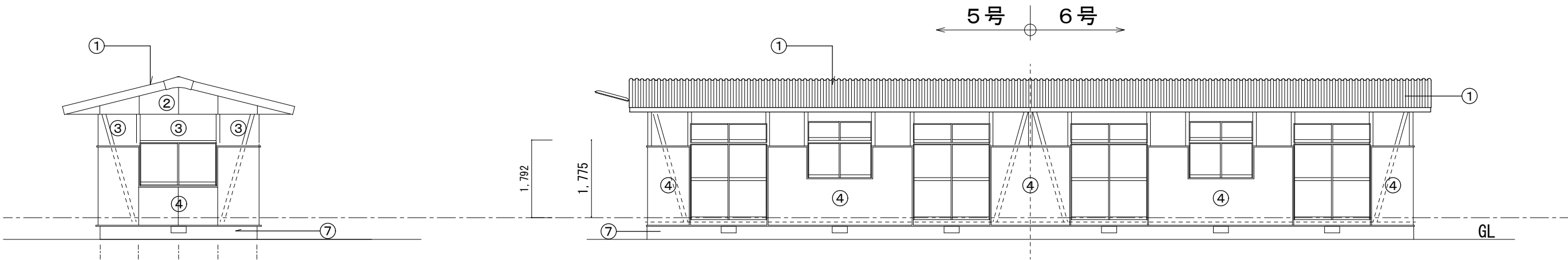
外部仕上

| 符号 | 仕 上 |
|----|---------------------------|
| ① | 大波スレート (アスベスト含有) |
| ② | ケイ酸カルシウム板 t=6mm (アスベスト含有) |
| ③ | 漆喰塗り 木舞 |
| ④ | 外壁合板 t=6mm |
| ⑤ | 軒天 (杉板) |
| ⑥ | モルタルコテ仕上 |
| ⑦ | モルタル刷毛引き仕上 |
| | 床下換気口 350x150 |
| | |



東立面図 Scale=1:100

北立面図 Scale=1:100



西立面図 Scale=1:100

南立面図 Scale=1:100



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

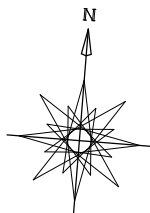
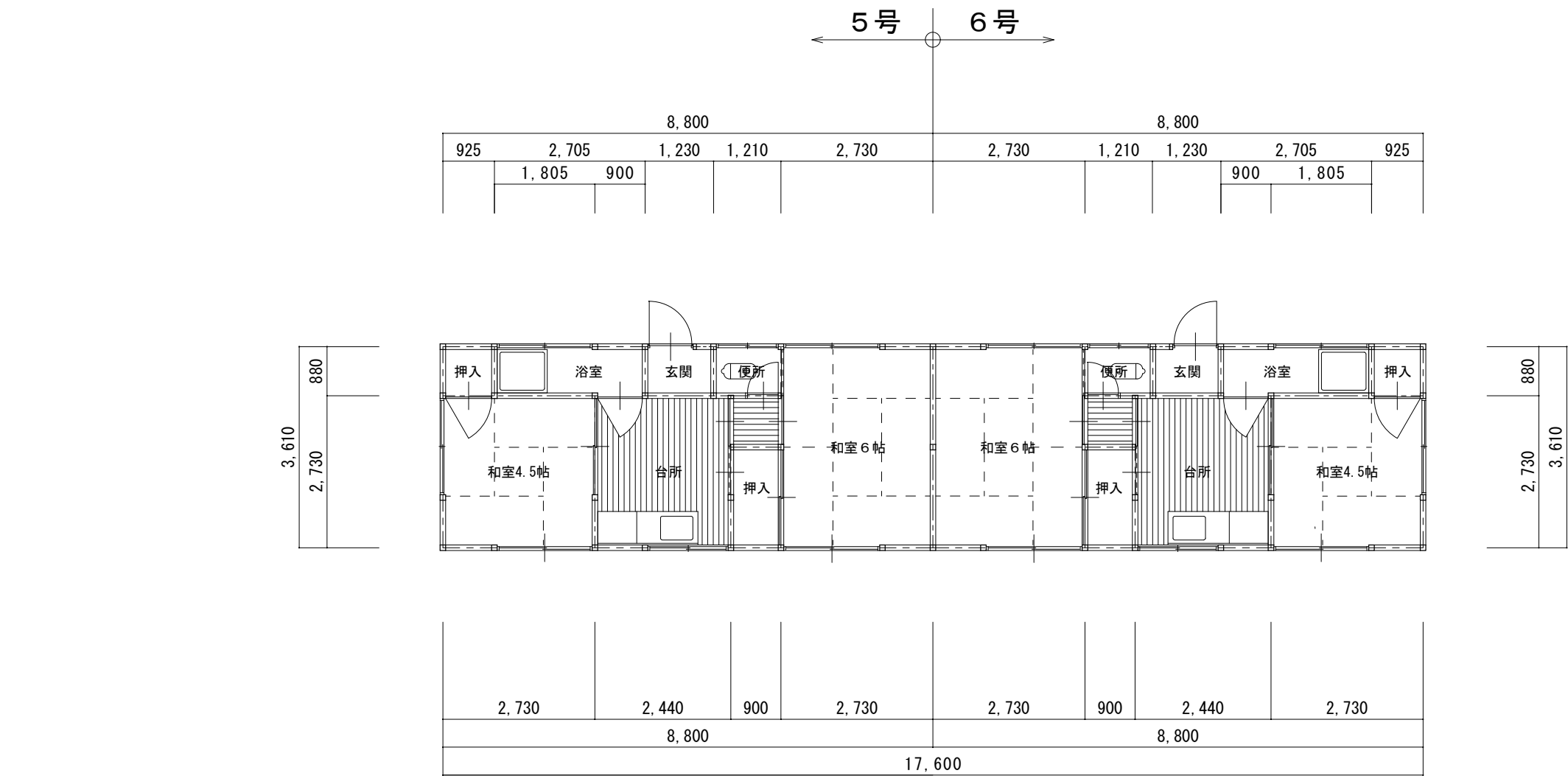
市営寺戸第2住宅5・6号解体工事

図面名称

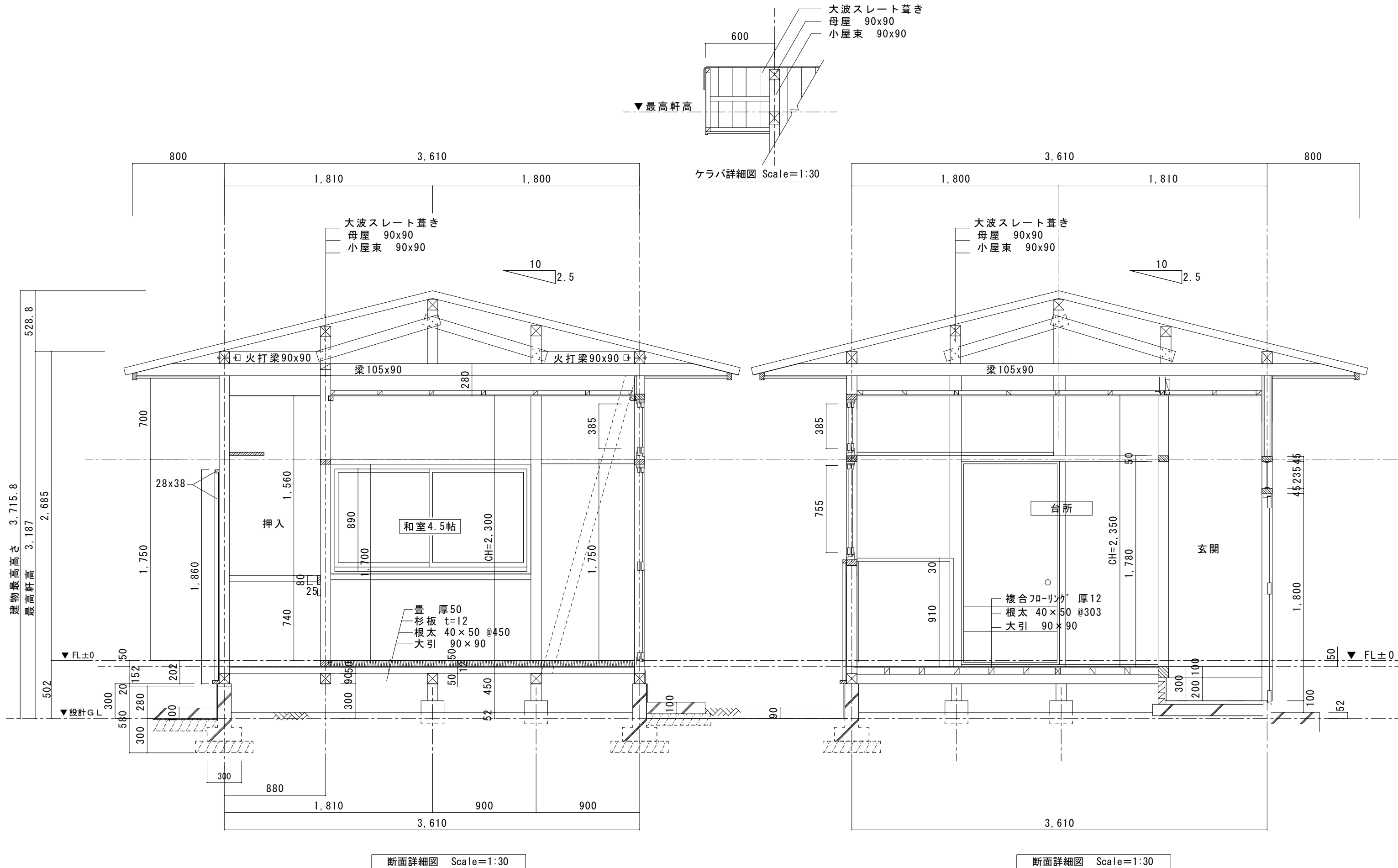
立面図

縮尺

1:100



平面図 Scale=1:100



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第223265号

佐伯晃志郎

・構造設計

・設備設計

工事名称

市営寺戸第2住宅5・6号解体工事

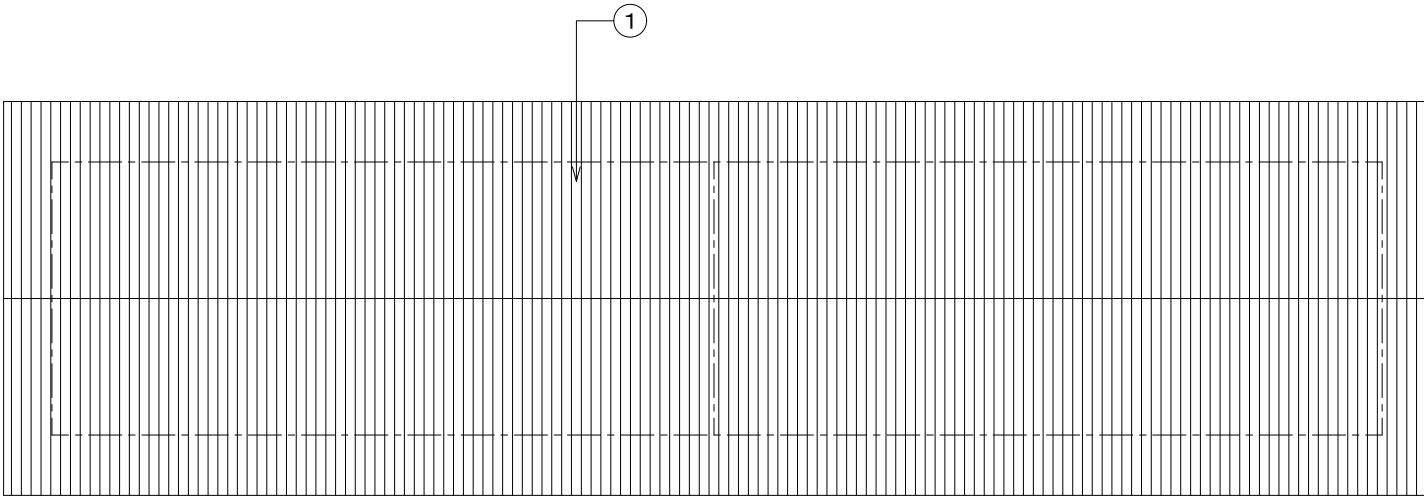
図面名称

断面詳細図

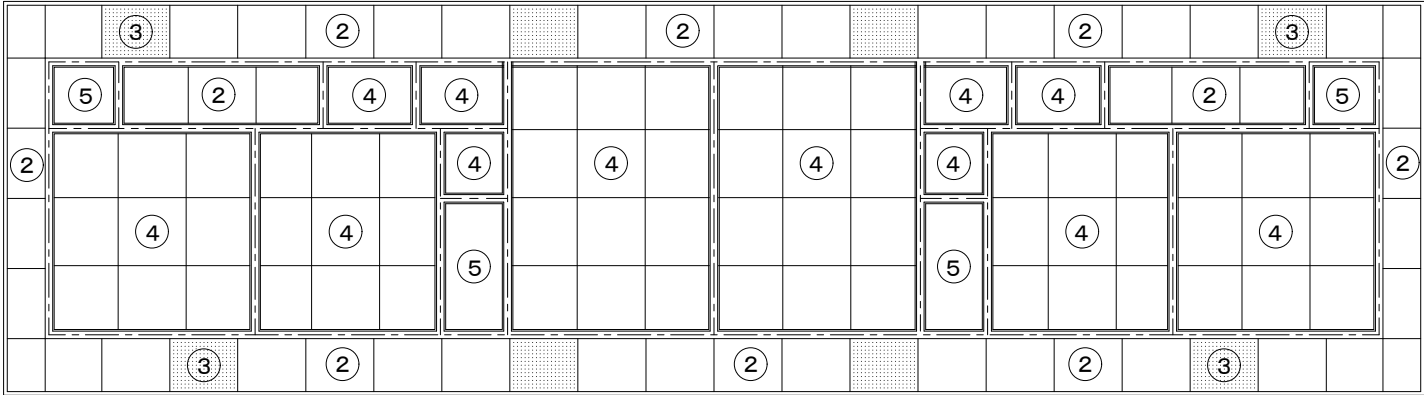
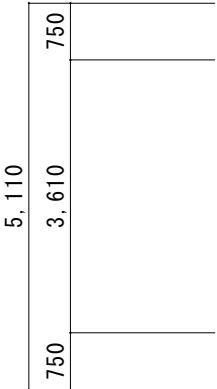
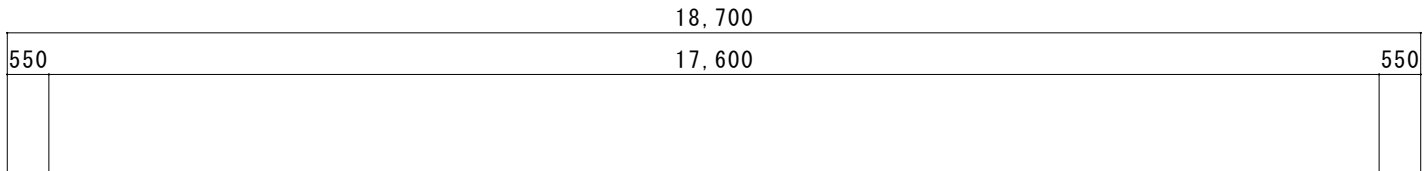
縮尺

1:30

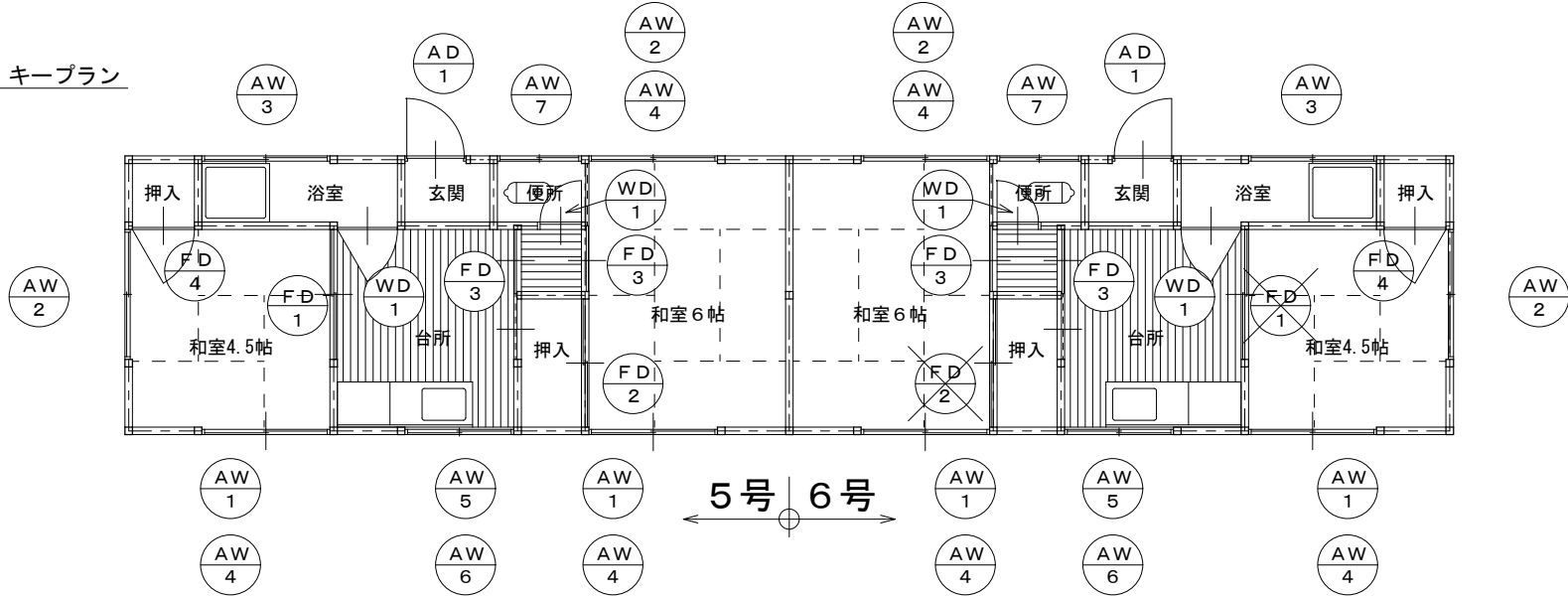
| 凡 例 | |
|-----|---------------------------------|
| ① | 大波スレート（ｱｽﾌﾟﾙﾄ含有） |
| ② | ケイ酸カルシウム板 t = 4.5mm（ｱｽﾌﾟﾙﾄ含有） |
| ③ | 有孔ケイ酸カルシウム板 t = 3.0mm（ｱｽﾌﾟﾙﾄ含有） |
| ④ | 化粧石膏ボード t = 7.0mm |
| ⑤ | ラワンベニヤ t = 3.0mm |
| | |



屋根伏図 Scale=1:100



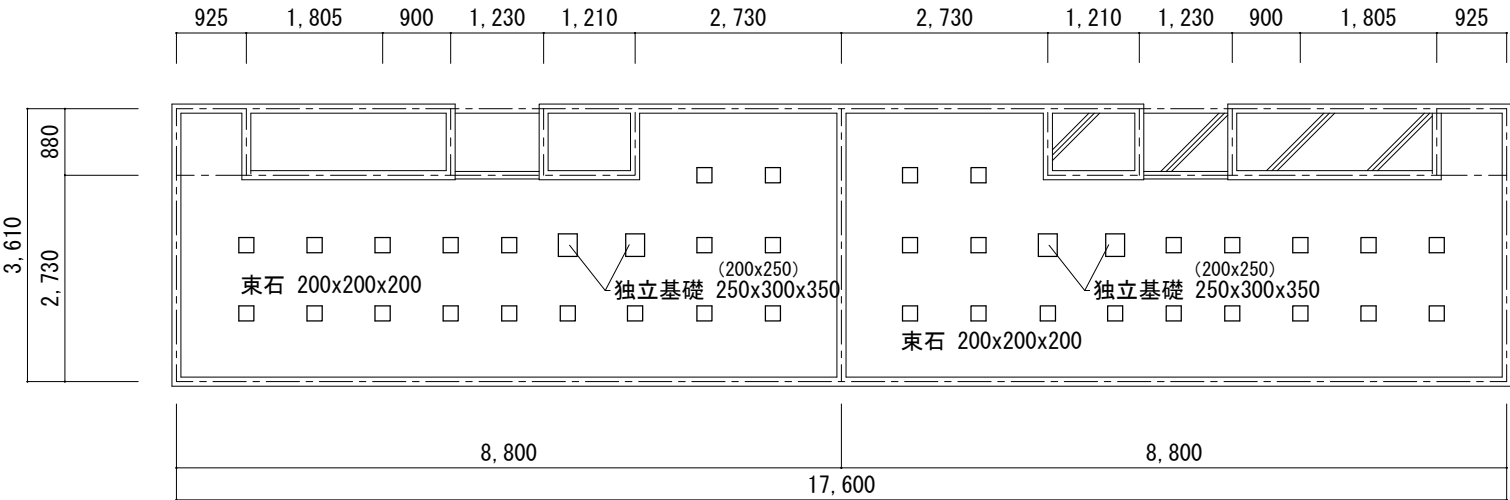
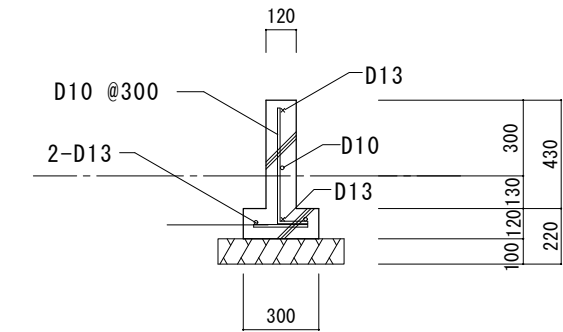
天井伏図 Scale=1:100



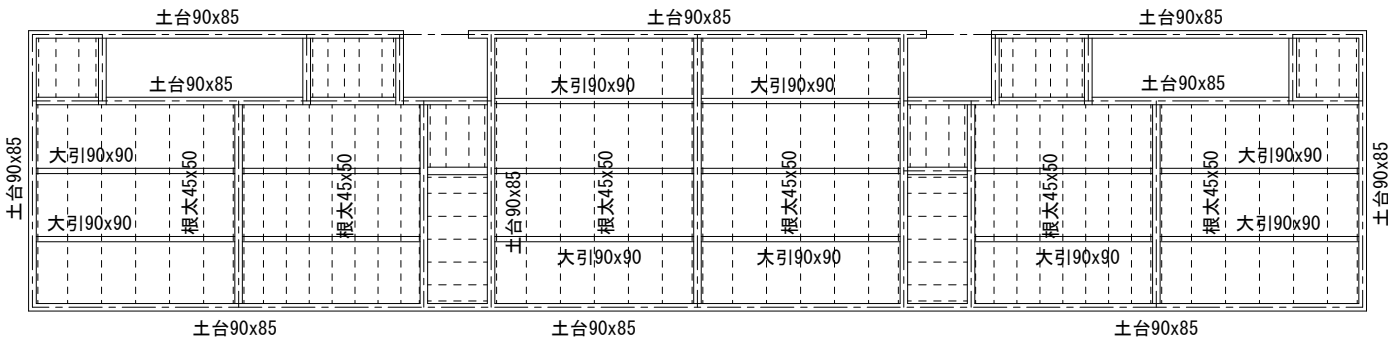
建 具 表

| 符 号 | 見 込 | <div>AD1</div> アルミ片開き戸 | <div>AW1</div> アルミ引違い戸 | <div>AW2</div> アルミ引違い戸 | <div>AW3</div> アルミ引違い窓 | <div>AW4</div> アルミ引違い窓 | <div>AW5</div> アルミ引違い窓 | <div>AW6</div> アルミ引違い窓 |
|-----|-----|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 姿 図 | | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 2 (6号) - 2 | (5号) - 2 (6号) - 2 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 |
| | | | | | | | | |
| | 場 所 | 玄関 | 和室6帖 和室4.5帖 | 和室6帖 和室4.5帖 | 浴室 | 和室6帖 和室4.5帖 | 台所 | 台所 |
| | 個 数 | 2 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 仕 様 | アルミ | アルミ | アルミ | アルミ | アルミ | アルミ | アルミ |
| 見付け | | | | | | | | |
| 硝 子 | | 型ガラス | トウメイ | トウメイ | 型ガラス | 透明 3 m/m | 透明 3 m/m | 透明 3 m/m |
| 金 物 | | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 |
| 備 考 | | | | | | | | |

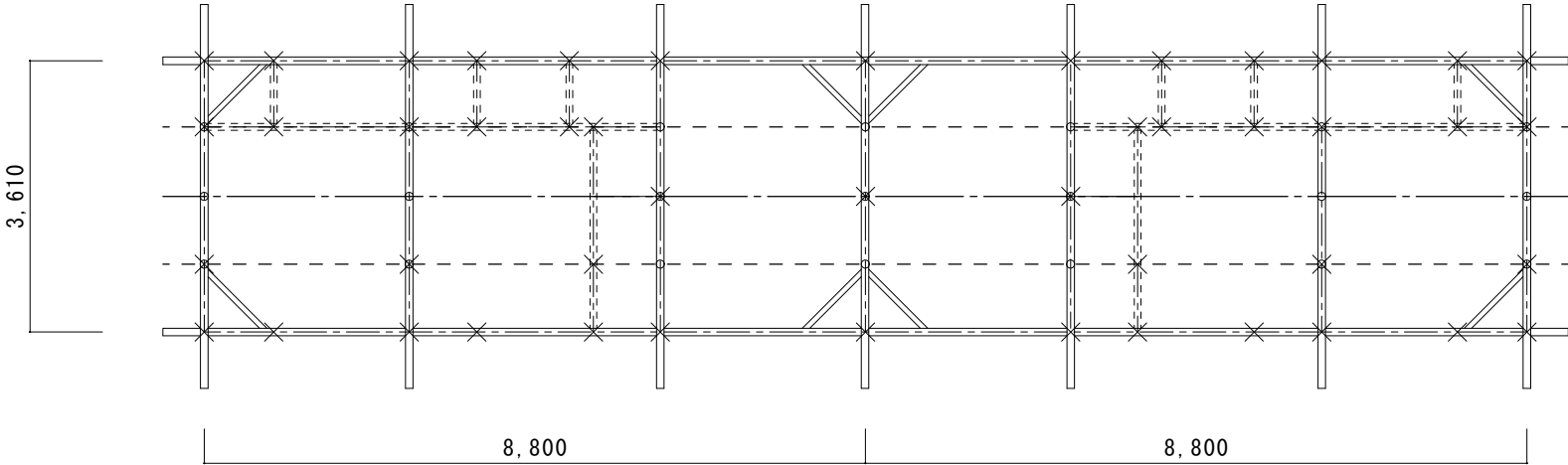
| 符 号 | 見 込 | <div>AW7</div> アルミ引違い窓 | <div>WW1</div> F I X | <div>WD1</div> 片開き戸 | <div>WD2</div> 片開き戸 | <div>FD1</div> 引違い襖 | <div>FD2</div> 引違い襖 | <div>FD3</div> 片引き襖 | <div>FD4</div> 片開き襖 |
|-----|------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 姿 図 | | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 | (5号) - 1 (6号) - 1 |
| | | | | | | | | | |
| | 場 所 | 便所 | | 浴室 | 便所 | 間境 | 押入 | 間境 | 4.5帖 |
| | 個 1数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| | 仕 様 | アルミ | 木製 | 木製 | 木製 | 襖 | 襖 | 襖 | 襖 |
| 見付け | | | 33 | 33 | 33 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 硝 子 | | 型ガラス 4 m/m | 型ガラス 4 m/m | | | | | | |
| 金 物 | | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 | 標準金物一式 |
| 備 考 | | | | | | | | | |



基礎伏せ図 Scale=1:100



床伏せ図 Scale=1:100



小屋伏せ図 Scale=1:100

| 凡 例 | | |
|-----|------|-----------------|
| | 梁 | 特記なき場合 90 x 105 |
| | 頭つなぎ | 特記なき場合 90 x 50 |
| | 下層柱 | 位置 90 x 90 |
| | 小屋束 | 位置 90 x 90 |
| | 棟木 | 90 x 90 |
| | 母屋 | 90 x 90 |
| | タルキ | 45 x 50 @1820/4 |
| | 火打ち梁 | 90 x 90 |